

平成18年度環境技術実証モデル事業検討会
ヒートアイランド対策技術ワーキンググループ会合（第1回）
議事要旨

1. 日時：平成18年8月25日（金） 10：00～12：00
2. 場所：経団連会館 906号室（明治）
3. 議題
 - （1）平成17年度第2回WG議事概要について
 - （2）ヒートアイランド対策技術（日射遮蔽フィルム、高反射性・遮熱塗料等）
実証試験要領作成の方向性について
 - （3）拡大ワーキンググループの開催要領について
 - （4）今後の検討スケジュールについて（予定）
 - （5）その他
4. 出席検討員 佐土原聡（座長に選出）、足永靖信、下田吉之、前川佳之、森川泰成
欠席検討員 石野久彌
5. 配付資料
 - 資料1 平成17年度ヒートアイランド対策技術ワーキンググループ会合
（第2回）議事概要
 - 資料2 実証試験に対するニーズ調査結果の概要
 - 資料3 ヒートアイランド対策技術（日射遮蔽フィルム・高反射性・遮熱塗料等）
実証試験要領作成の方向性
 - 資料4 拡大ワーキンググループ開催要領（案）
 - 資料5 今後の検討スケジュールについて（予定）参考資料
 - 1 平成18年度環境技術実証モデル事業実施要領
 - 2 平成18年度ヒートアイランド対策技術ワーキンググループ設置要綱
 - 3 環境技術実証モデル事業展示・ワークショップ/シンポジウムについて
（平成17年度第2回環境技術実証モデル事業検討会資料 資料3）
6. 議事
会議は公開で行われた。
 - （1）平成17年度第2回WG議事概要について
 - ・ 資料1を配付し、意見等については事務局が個別に受け付け対応することとなった。
 - （2）ヒートアイランド対策技術（日射遮蔽フィルム、高反射性・遮熱塗料等）実証試験
要領作成の方向性について

- ・ 事務局から資料 2、3 に基づき、実証試験に対するニーズ調査結果、またその結果を踏まえたヒートアイランド対策技術（日射遮蔽フィルム・高反射性・遮熱塗料等）実証試験要領作成の方向性について説明。
- ・ 対象とする技術の定義が曖昧であるので、明確にするべきとの指摘があった。
- ・ 空調負荷の削減効果や室内温度上昇の抑制効果ばかりではなく、照り返しによる悪影響なども考慮すべきとの指摘があったが、実証困難であることから、照り返しによる悪影響は実証の範囲外とし、技術の有効性の範囲などを実証結果に記載する方向性で引き続き検討することとされた。
- ・ 実験箱等を用いたシミュレーションを行う場合、標準的な試験条件（光源の種類・入射角、想定される窓ガラスや屋根板の種類など）を設定する必要があるとの指摘があり、引き続き関連した情報収集を行うこととされた。
- ・ 実証試験要領案については、事務局にて必要な情報収集および検討を行い、次回会合までに第 1 次案としてとりまとめることについて了承された。

（ 3 ） 拡大ワーキンググループの開催要領について

- ・ 事務局から資料 4 に基づき、より広範な関係者意見の吸い上げ、実証ベネフィット向上を目的とした、拡大ワーキンググループの開催について説明。

（ 4 ） 今後の検討スケジュールについて（予定）

- ・ 事務局から、資料 5 に基づき説明
- ・ 次回ワーキンググループ会合は、9 月 19 日（火）13:00 より開催される旨、事務局から説明を行い、了承された。

（文責：環境省水・大気環境局環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり）